

# こころのはな



## 3年生 「いちばんうれしいこと」 ～親切、思いやり～

「人間がいちばんうれしいことはなんだろう？」アンパンマンの作者であるやなせたかしさんは、人は喜ばせることが一番嬉しいと言います。そのように考えるようになったのは、自らの戦時中の体験に関係があります。毎日食べていくことがとても大変な時代に「人間にとっていちばんつらいのはひもじいことだ。」「だいじなのは決して大げさなことではなくて、もし目の前にお腹をすかせている人がいれば、その人に一切れのパンをあげることだ。」という思いを抱きました。そして、この思いから生まれたのがアンパンマンです。アンパンマンを始め、やなせさんの作品には相手を思いやる人が描かれています。それを読んでもらい、たくさんの人に喜んでもらうことがやなせさんの喜びです。

授業の最初、「みんなにとって一番嬉しいことは？」と子どもたちに聞くと、「ほめられること」「ほしい物を買ってもらうこと」「勝負に勝つこと」と答えました。『いちばんうれしいこと』の話を読み、やなせさんの経験やアンパンマン誕生秘話を知ると、やなせさんの思いを感じ取ることができ、だれかを喜ばせて自分も相手も嬉しくなる行為が本当の思いやりであることに気づいていました。人を喜ばせる行動は、身近にたくさんあります。ご家庭でもお子さんの頑張る姿やお手伝いをする姿が見られた時は、励ましや感謝の気持ちを精一杯伝えてほしいと思います。また、お子さんから「ありがとう」「がんばって」など、家族のみんなに感謝やエールを伝えられるような関係を作れるとよいですね。

### 「大げさなこと」じゃなくていい、自分にできることは？

- 友だちに声をかけて遊ぶ。
- お手つだいをたくさんをする。
- いっぱいしゃべって、みんなの笑顔をふやしたい。
- 習い事をがんばって、お家の人をよろこばせたい。
- まわりを見て行動して、こまっている人を見つけて助けてあげたい。
- 「ごめんね」をすぐに言えるようになりたい。



自分にできることを一生懸命考えていました！



